



No.536
2025
令和7年
11月号

広報おおき

こころ豊かな暮らしづくり・まちづくり

令和6年度決算、事業報告 2～7ページ

写真：6年ぶりに開催された町民体育大会 会場全体でゴールを喜ぶ大栗地区の皆さん（裏表紙に関連記事）



一般会計

令和6年度決算報告

歳入総額 **84 億 7,535 万円** 前年比 +4.0%

歳出総額 **78 億 9,532 万円** 前年比 +4.0%

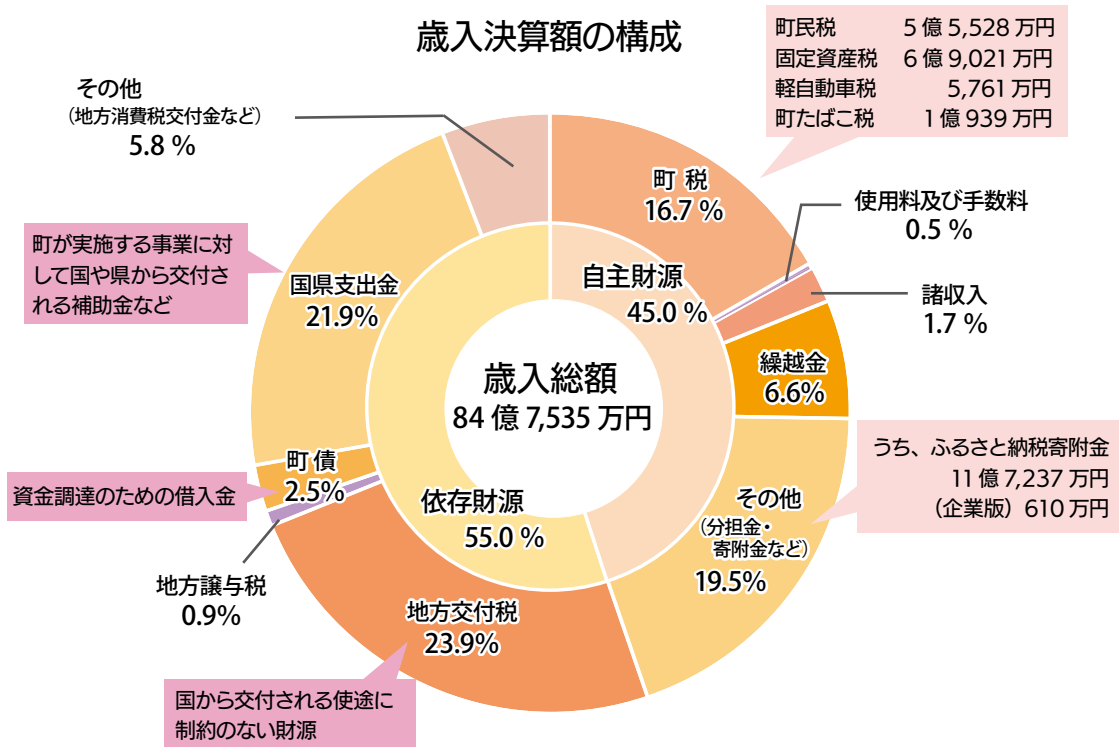
歳入歳出差引額 5 億 8,003 万円

翌年度への繰越財源 1,521 万円

実質収支 5 億 6,482 万円 前年比 +41.5%

令和6年度の一般会計決算は、歳入歳出ともに増加。歳出増加の主な要因は、木佐木小体育館改修工事、消防団格納庫新築工事などの施設整備費やふるさと納税基金積立金の増加です。歳入は、地方交付税の増額やふるさと納税寄附金の増加が主な要因です。

歳入決算額の構成

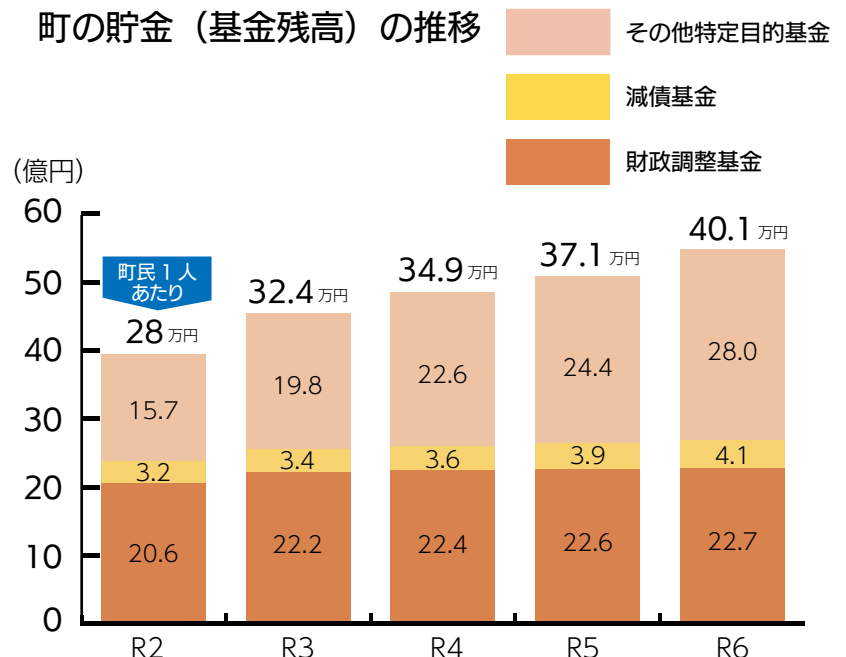


町民の皆さんが負担した町税 (1人あたり換算)

令和7年1月1日現在
人口 13,652人

町民税	40,674 円
固定資産税	50,558 円
軽自動車税	4,220 円
町たばこ税	8,013 円

町の貯金 (基金残高) の推移



令和6年度末の基金残高は54億7,906万円で、前年比7.6%の増加。地方交付税の追加交付による増額や、ふるさと納税寄附金の伸びなどにより、近年の基金残高は増加傾向にあります。

※その他特定目的基金に含まれるふるさと納税基金は、寄附を受けた年度に積立て、翌年度に寄附の趣旨に沿って事業に活用しています。

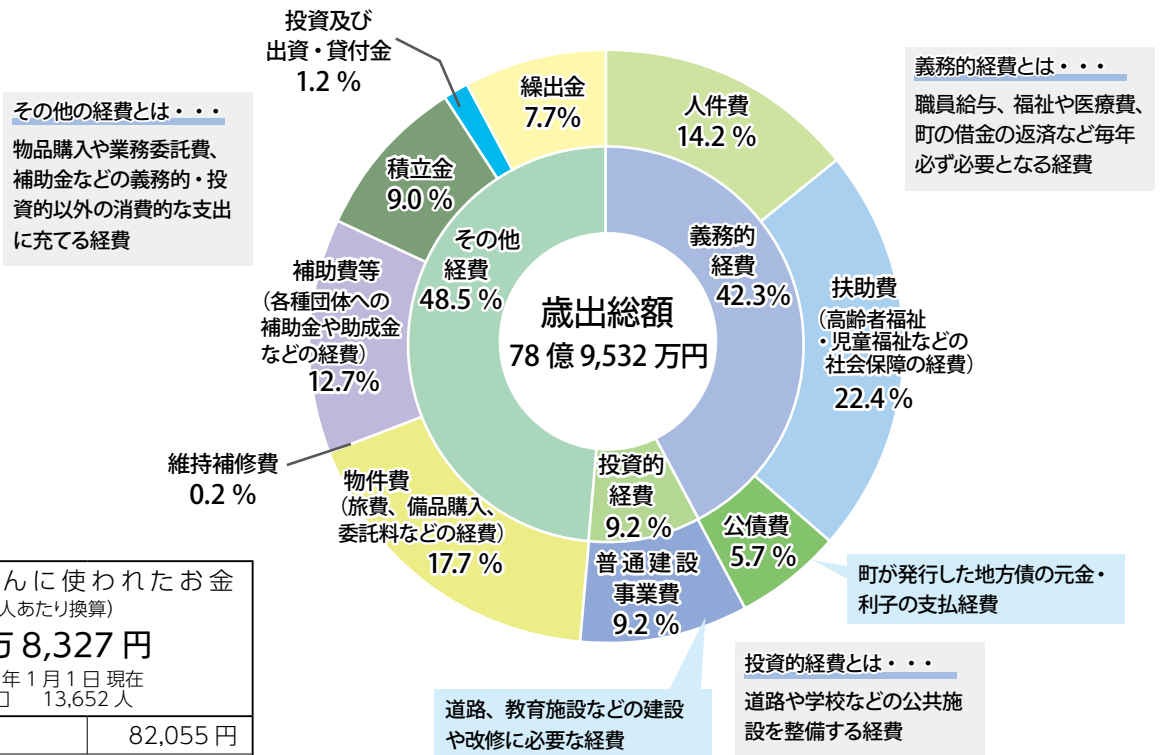
特別会計決算

会 計 名		決算額	前年度比
国民健康保険 ※1	歳入	17 億 3,041 万円	+4.4%
	歳出	18 億 2,621 万円	- 0.2%
	差引	- 9,580 万円	- 44.3%
後期高齢者医療	歳入	2 億 4,111 万円	+15.5%
	歳出	2 億 2,832 万円	+14.6%
	差引	1,279 万円	+33.2%
水道事業	収益的事業	収入	2 億 5,740 万円
		支出	2 億 3,564 万円
	資本的事業 ※2	収入	1,854 万円
		支出	7,548 万円

※1 国民健康保険特別会計の歳入不足額は、翌年度予算からの繰り上げ充用で赤字補てんをしています。

※2 水道事業（資本的事業）の収入不足額は、積立金などで補っています。

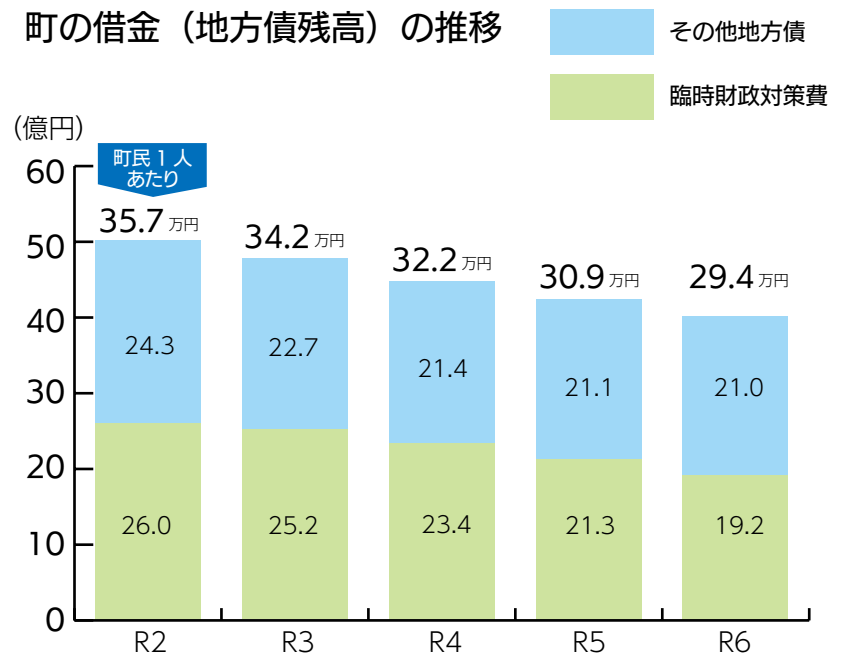
性質別歳出決算額の構成



町民の皆さんに使われたお金 (1人あたり換算)	
57 万 8,327 円	
令和 7 年 1 月 1 日 現在 人 口 13,652 人	
人件費	82,055 円
扶助費	129,443 円
公債費	33,302 円
普通建設事業費	52,968 円
災害復旧事業費	0 円
物件費	102,562 円
維持補修費	1,100 円
補助費等	73,270 円
積立金	52,251 円
投資及び出資・貸付金	6,687 円
繰出金	44,690 円

令和 6 年度末の地方債残高は 40 億 2 千 1 百 3 万円で、前年比 5・2% の減少。新規発行額よりも償還額が大きいため、残高は減少傾向にあります。しかし、今後は老朽化した施設の更新のため、基金の取り崩し額や地方債の新規発行額の増加が見込まれます。

町の借金（地方債残高）の推移



住み続けたいと思える 持続可能な循環のまち おおき

町の将来像

地域と行政が協働でめざす町の将来像



めざす町の姿

地域と行政が具体的にめざす方向や活動の状態
質問内容に該当すると答えた割合が「めざす町の姿」の達成具合を評価する数値です。

まちづくり
町民アンケート
で 毎 年 評 価



事業

「めざす町の姿」に関する課題解決のため、政策・施策に基づいた事業を実施しています。



自治総合計画でめざす町の姿の達成具合や、町民の皆さんの意見を伺うため、毎年アンケート調査を行っています。令和6年度の集計結果を抜粋してお知らせします。

企画財政課 ☎0944-32-1036

令和6年度まちづくり町民 アンケート集計結果（抜粋）

町の将来像

人と経済の好循環で活力ある産業が育つまち



めざす町の姿

農業の生産性が高く、後継者が生まれていること



評価指標

農業算出額

(R5) 235 千万円 ↗ (R6) 246 千万円

R5 年度末（中間）目標 264 千万円

R9 年度末（最終）目標 268 千万円

認定農業者数

(R5) 130 経営体 ↗ (R6) 137 経営体

R5 年度末（中間）目標 128 経営体

R9 年度末（最終）目標 140 経営体

令和6年度に実施した主な事業

畜産推進事業

（事業費：3,231 万7千円）

地域おこし協力隊による新たな畜産業（昆虫飼育業）の実証実験を実施し、約8,000匹のカブトムシを養殖し、廃菌床6,000kgを処理するなど、地域資源の循環と新たな産業創出への取り組みを支援しました。



町の将来像

人と経済の好循環で
活力ある産業が育つまち

めざす町の姿

地域産業が活気にあふれ、町がにぎわっていること

評価指標（アンケート結果）

町内の商工業について、安定した経営が行われていると思う町民の割合 / 町内において、新規出店、起業が適度に行われていると思う町民の割合

(R5) 20.3% → (R6) 18.4%

R5 年度末（中間）目標 25.0%

R9 年度末（最終）目標 31.3%

令和 6 年度に実施した主な事業

ふるさと納税返礼品改良支援補助事業

（事業費：1,390 万 5 千円）

ふるさと納税返礼品を提供する町内事業者を対象に、返礼品の増産や商品パッケージの改良などを支援する取り組みを行いました。



町の将来像

子育てしやすく子どもが元気に輝くまち

めざす町の姿

みんなが支え合い、安心して子育てができること

評価指標（アンケート結果）

子育てについて相談できる場所や機会を知っている町民の割合 / 働きながら子育てができる環境が整っていると感じる町民の割合

(R5) 48.2% → (R6) 44.1%

R5 年度末（中間）目標 52.4%

R9 年度末（最終）目標 56.5%

令和 6 年度に実施した主な事業

こども家庭センター事業

（事業費：1,036 万円）

こども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉を一体的に支援する体制を整えました。妊娠期から子育て期までの相談や養育支援を強化し、関係機関と連携しながら切れ目のない支援に取り組みました。



町の将来像

子育てしやすく子どもが元気に輝くまち

めざす町の姿

豊かな学びを支える教育環境が整っていること

評価指標(アンケート結果)

子ども達が学校で学ぶための学校環境が整っていると感じる町民の割合

(R5) 51.7% → (R6) 49.6%

R5 年度末(中間) 目標 55.7%

R9 年度末(最終) 目標 59.5%

令和6年度に実施した主な事業

学校給食補助事業

(事業費: 3,273 万 2 千円)

小中学校に通う第2子以降の児童生徒の給食費無償化、第1子の給食費の一部助成を継続し、子育て世帯の経済的負担を軽減しました。また、食材費高騰分の食材費補助も継続し、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食の提供を行いました。



町の将来像

だれもがいつまでも幸せに暮らせる健幸長寿のまち

めざす町の姿

災害に対する備えが整い、安心して暮らせるまちであること

評価指標(アンケート結果)

町や地域の災害に対する備えや助け合いの環境が整っていると感じる町民の割合

(R5) 47.2% → (R6) 43.4%

R5 年度末(中間) 目標 55.2%

R9 年度末(最終) 目標 59.0%

令和6年度に実施した主な事業

消防施設整備事業

(事業費: 7,426 万 9 千円)

消防団再編計画に基づき第1分団第2部消防格納庫を新設し、消防団の活動環境を改善するとともに自主防災組織との連携を通じた、地域防災体制の充実を図りました。



町民の皆さんからの
ご意見

Q 防犯灯(街灯)の新設は、どのように要望すればよいのか

A 本町では、幹線道路や通学路などで犯罪を防止することを目的に、既存の電柱を活用し、防犯灯の設置を進めているところです。

防犯灯の新設は、新設にかかる費用を町が負担し、設置後の電気料金を地域(自治区)が負担する方法で進めています。設置後の自治区負担があることから、各自治区の区長に防犯灯新設の必要性の検討も含め、随時要望の取りまとめを行っていただいています。

前述のような方法で進めていることから、防犯灯新設は、地区の区長にご相談ください。

事業評価・町民
アンケートの
結果QRコード



町の将来像

堀と自然が調和した暮らしの基盤が整ったまち



めざす町の姿

社会基盤がバランスよく整い、快適に暮らしていること



令和6年度に実施した主な事業

狭あい道路事業

(事業費：2,665万8千円)

狭あい道路（道幅が4m未満の道路）の拡幅整備工事を実施し、生活道路としての利便性を向上させるとともに、緊急車両の通行確保や消防活動の円滑化につながる防災機能の強化を図りました。



評価指標（アンケート結果）

生活しやすい環境（道路、水道、公園、交通、情報通信設備）が整っていると感じる町民の割合

(R5) 43.9% ↑ (R6) 44.6%

R5 年度末（中間）目標 52.2%

R9 年度末（最終）目標 56.2%

町の将来像

高い経営意識のもと
健全な行政経営が行われるまち



めざす町の姿

生産性高い行政経営と健全な財政運営が行われていること



令和6年度に実施した主な事業

木佐木小学校体育館大規模改修事業

(事業費：1億5,016万2千円)

大莞小学校駐車場等整備工事

(事業費：2,355万6千円)

安全・安心な学校施設環境を維持するため、木佐木小学校体育館の大規模改修工事および大莞小学校の駐車場等整備工事を実施しました。



評価指標（アンケート結果）

ムダを省き効率的な行政運営がおこなわれていると感じる町民の割合

(R5) 28.5% ↑ (R6) 29.0%

R5 年度末（中間）目標 31.2%

R9 年度末（最終）目標 37.0%



町の最上位計画である「大木町自治総合計画」の政策施策、活動事業の取組状況や成果の検証・評価を行うために設置されている自治総合計画審議会において、令和6年度の取り組みの審議が行われました。

その結果をまとめた「検証評価報告」が9月17日に久良木会長から広松町長へ提出されました。町では、この報告を今後の施策の改善や次期計画に活かしていきます。





受けてよかった 胃内視鏡検査

驚きです！ 2000円の自己負担で
胃内視鏡検査が受けられるなんて

「この検査を受けないなんて、もったいないですよ。町民の皆さんにもぜひ、受けていただきたいと思います」

で、インタビューを受けることにしました。」
こう語るのは、大木町在住の北原充子さん。



【プロフィール】
北原充子さん
年齢：60代
家族のがん患者：姉・父

検査を受けたきっかけは？

職場の健康診断で人間ドックを受けていたので、退職後も定期的に検診を受けることが習慣になっていました。昨年、町の胃がん検診に内視鏡検査が導入されることを知り、迷わず検査を受けることにしました。人間ドッグだと、3万円くらいかかるので、経済的にも助かりました。

検査への不安は
ありませんでしたか？

胃内視鏡検査は3回目ですが、初めて検査した時は、正直不安で怖かったです。口から異物が入りますからね。カメラが喉を通るときと抜くとき、違和感がありましたが、私の場合は大丈夫でした。

検査中は、看護師さんが、優しく背中をさすってくれたので、「大丈夫ですか」「もう少しで終わりますよ」と声をかけてくれたので、安心して受けることができました。

検査を受けてみて
どうでしたか？

家族にがん患者がいるので「異常なし」の結果が届いて安心しました。これからも健康に気を付けて生活し、大好きな映画を観たり、友達とのランチを楽しみたいと思います。

町民の皆さんへの
メッセージ

検査を受けるのも健康じゃないと受けられないんですよ。以前、胃がんのX線検査を受けていましたが、バリウムを飲んで、逆さになったり、指示どおりに動いたり、体力をかなり使います。体調が悪いと検査も受けられないので、元気な時から、検査を受けることを習慣にしていきたいと思います。健康維持のために大切なことだと思っています。

健康課より



検査を受けることで今の健康に自信が持てます。「検査を受けてよかった」と安心できるように2年に1度、受診しましょう。家族や自分のために一歩踏み出してみませんか？

胃がんってどんな病気？

- ・胃がんの主な原因は、ピロリ菌感染や喫煙、塩分の高い食事です。ピロリ菌感染率は20歳以下では1割以下ですが、60代では5割、80代以上では8割ほどです。
- ・初期の胃がんはほとんど症状がなく、進行してから発見されることもあります。
- ・早期に見つかれば90%以上が治ると言われています。
- ・胃がん検診にはX線を利用した胃バリウム検査と内視鏡検査の2つがあります。

胃内視鏡検査 詳細

・胃内視鏡検査は通称「胃カメラ検査」と言われています。
・直接胃の中を観察でき、より正確な診断が可能です。
・苦しさや不安な人も、医師やスタッフが丁寧にサポートします。

● 注意事項

次に該当する場合は受診できません。

- ・胃に関する症状がある
- ・同意書の取得ができない
- ・妊娠中
- ・入院中
- ・消化性潰瘍などで治療中（ピロリ菌除菌中含む）
- ・胃の全摘手術を受けた

● 実施期間

令和8年3月31日（火）まで

● 対象者 50歳以上の偶数年齢の人※令和8年4月1日時点の年齢

● 費用 2千円

（通常約1万7千円）

● 受診の流れ

- ① 医療機関を選ぶ
- ② 電話で予約する
- ③ 事前説明を受ける
- ④ 受診する
- ⑤ 検査結果を確認する

実施医療機関	
くにたけ医院	大木町大字大角 186-1 ☎0944-32-1105
高木病院	大川市大字酒見 141-11 ☎0120-87-0062
高宮クリニック	大川市大字一木 571 ☎0944-86-2812
福田病院	大川市大字向島 1717-3 ☎0944-87-5757
よしはら医院	大川市大字小保 177 ☎0944-87-2711
萬年内科	久留米市城島町江上上 184 ☎0942-62-4161
安本病院	久留米市三潯町玉満 2371 ☎0942-64-2032

胃内視鏡検査の流れ

● 検査前の準備

① 消泡剤を飲む

胃をきれいにすることで胃壁が見えやすくなります。

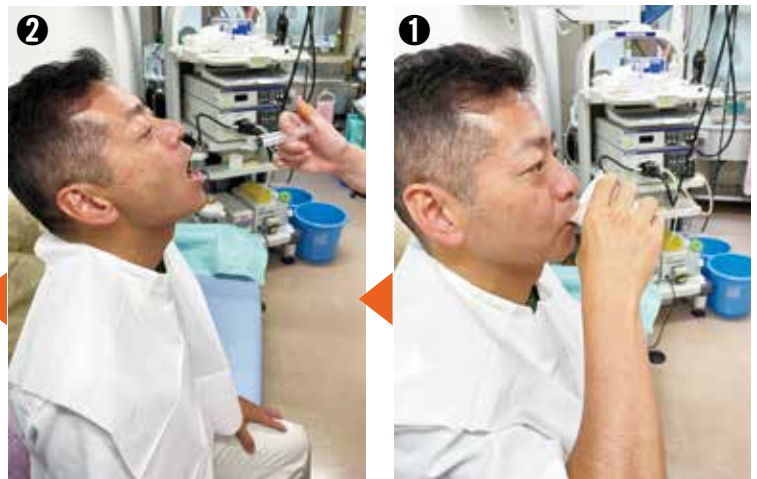
② 咽頭麻酔をする。

喉にゼリーの麻酔をする。

● 内視鏡検査

③ ベッドに横たわり、マウスピースを装着後、内視鏡が口から挿入されて検査開始です。カメラが入って抜けるまでの時間は5分程度です。

※注意事項
町が実施する胃内視鏡検査では、鎮静を目的とした鎮静薬・静脈麻酔薬・鎮痛薬は使用できません。



胃がんリスク検査も実施しています。

胃がんリスク検査は、胃がんそのものを発見する検査ではありません。胃の粘膜に生息するピロリ菌の感染の有無と胃粘膜の萎縮度を血液検査で調べ、将来の胃疾患にかかるリスクを発見する検査です。

● 対象者

20・25・30・35・40・45・50・55・60・65歳の人

※令和8年4月1日時点の年齢

● 費用 500円

● 実施期間

11月29日（土）まで

町では、その他のがん検診も実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。



健康課

☎0944-32-1280

うちどく
家読イベント

おはなし ラララ

11月15日 土

図書・情報センター 2階

参加者にはプレゼントがあります

11月は大木町家読月間です。

読書ボランティアの皆さんがおはなし会を行います。

10時半～

- ◆本のポップコンテスト表彰式
- ◆ブックトーク

11時～12時

- ◆すきっぷ「大型絵本」ほか
- ◆おひさま「紙芝居」ほか
- ◆ぶっくらぶ大木「エプロンシアター」ほか

14時～15時

- ◆おおいえほんのひろば「手話の歌」ほか
- ◆☆きらきら「まき絵のおはなし」ほか



「本のポップ」コンテスト 作品展示

大木中学校の生徒がおすすめの本のポップを作成しました。キャッチフレーズを付けたり文章やイラストを描いたりして、本を紹介しています。

どの作品も、魅力がぎゅっと詰まった素敵な作品です。ぜひご覧ください。

●期間 11月3日(月)～30日(日)

●場所 図書・情報センター2階



なんり

南里ひでみさん (木佐木学童主任)

学童では、上級生が下級生に紙芝居を読んでいます。

下級生は、大きくなったら自分たちも「お兄ちゃんやお姉ちゃんみたいに読みたい。」と思っているようです。

子どもたちは紙芝居や本が大好きで、読み聞かせをする優しい姿に嬉しくなります。



くめまゆか

久米万弓花さん (おおいえほんのひろば)

昨年の家読イベントおはなし♪ラララ♪で手話と歌と本の紹介をしました。

読書ボランティアだけでなく地域の方や子どもたちも参加しました。この「手話と歌と本の輪」が広がって、今まで図書・情報センターに来たことのない人も足を運び、いろんな本に出会ってほしいと思っています。



きたじまりか

北島理香さん (大木町地域読書ボランティア)

小学校で国語の教材に関するブックトークをしています。教室でブックトークをした後、手に取って本が読めるようにたくさん本を持って行きます。

いつもは本を進んで手に取らない子どもたちも「これおもしろそう。」「読んでみたい。」と言って話しかけてくれます。その時が一番幸せな時間です。



本と一緒にみんなつながる



☎地域づくり課 ☎0944-32-1047

読書は知識を増やすだけでなく、相手の気持ちに寄り添う心を育てたり、新しい価値観に出会うことで視野を広げたりすることができます。読み聞かせや感想を語り合うことで、家族や友だちとコミュニケーションを深めるきっかけにもなります。

町では、本に親しみをもち、読書を身近に感じることができるさまざまな取り組みを行っています。

ほんといっしょ



子どもの読書推進連携会議委員の皆さんに、「ほんといっしょ」の1コマを紹介していただきました。

まつなかよしえ

松中好江さん（木佐木小学校校長）

木佐木小学校の2年生が、園児に自分のおすすめの本を読み聞かせしました。

読み聞かせの練習を何度もしてお話をしました。園児の話を聞く姿を見ていると、お姉さんの話を真剣に受け止めていることが分かります。

絵本は、子どもたち同士の気持ちをつなげていると感じます。



やまだ

山田ゆりかさん（大溝小学校司書教諭）

図書委員が、学校のみなが図書館を利用しやすいように毎日本の整理をしています。

「この棚、ぐちゃぐちゃになってるよ!」

「こっちもだよ!」

「この絵本は、こっちだね～」

「こうすると下級生が、本を選びやすいよね。」

本を通して、子どもたちの優しい心が育っています。



たけふさめぐみ

竹房 恵さん（大木中学校学校司書）

今年から行っている、「図書館朝の会」の様子です。朝の会を図書館で行った後、「朝読」の本を選んで読書の時間を楽しみます。その時、

生徒「先生これは、どうですかね。」

先生「いいねー。おもしろそうだな。」

こうして本を通して話が弾む時間があるのは貴重です。



「いただきます」で始まる1日 朝ごはんは元気のスイッチ

☎健康課 ☎0944-32-1280

「忙しい朝、つい朝ごはんを抜いてしまう」そんな経験ありませんか？
子どもを送り出す準備に追われたり、仕事や学校に急いで出かけたり、朝はあっという間に時間が過ぎていきます。近年、「朝ごはんを食べない」という人も増えてきています。
朝ごはんは1日を元気にスタートさせるための大切なエネルギー源です。



朝ごはんのチカラ

体のエネルギー源

就寝中に使われたエネルギーや午前中に使うためのエネルギーが補給され、集中力や判断力、記憶力がアップします。

脳や体がしっかり目覚める

胃や腸などの消化管が動き出します。それによって寝ている間に低下した体温が上昇し、脳や体が目覚めます。

生活リズムが整う

1日のリズムを司る体内時計の周期は24時間よりも少し長めです。朝食は体内時計をリセットし、生活リズムを整えます。

代謝アップで太りにくい体に

1日の代謝が活性化されます。朝食を抜くと体がエネルギーをため込みやすくなり、かえって太りやすくなります。

腸が動き出して、便秘予防

排便リズムが整います。食べ物が空っぽの胃を刺激することで、腸が活発に動き出し、排便を促します。

心が落ち着き、前向きな気持ち

血糖値が安定してイライラしにくくなり、ストレスを感じる事が少なくなります。

簡単な食事から始めてみよう！

STEP 1

手軽なものでもまず一口

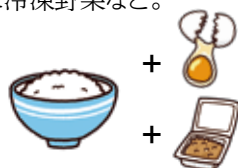
おにぎり、ヨーグルト、果物、スープなど、食べやすいものから始めましょう。朝は食欲がないという人は、水や牛乳を飲んで胃を目覚めさせるのがおすすめです。時間のない人は前日に準備しておきましょう。通勤・通学中に購入するのも◎。



STEP 2

プラス1品で バランスアップ

朝ごはんを食べることが習慣化してきたら、品数を増やしてみよう。ごはんには納豆や卵、パンにチーズやレタス、ヨーグルトに果物、インスタントみそ汁に冷凍野菜など。



STEP 3

主食・主菜・副菜を そろえる

品数を増やすことに慣れてきたら、主食、主菜、副菜をそろえたバランスの良い朝ごはんに挑戦してみましょう。さらに乳製品や果物を加えると、カルシウムなどのミネラルやビタミンを効率よく摂取できます。



最期まで自分らしく生きるために

◎大木町地域包括支援センター
☎0944-33-0657

大切な人と会議してみませんか？

約70%の人が、伝えたり、意思決定することが難しくなったりして、自分の思いを伝えないまま最期を迎えると言われています。

11月30日は「人生会議の日」です。伝えておきたい大切なことは何か、考えてみましょう。

人生会議とは？

自分が大事にしていることや望んでいること、どのような医療やケアを受けたいかを、前もって考え、周囲の大切な人と共有しておくことを「人生会議」(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)といいます。



ゲームで楽しみながら

地域包括支援センターでは、出前講座の「もしバナゲーム」を通して、自分の最期を考える講座を実施しています。

「自分がもし余命半年だったら？」というテーマで、カードに書かれた内容をヒントに、残りの人生を「どのように生活したいか、どんなことを大事にしたいか」など、自分にとって大切なことを考えるゲームです。



普段、大事なことが分かっていても、何となく避けてしまいがちな「人生の最期(もしものはなし)」を、ほかの人と一緒にゲーム感覚で取り組むことで、明るい雰囲気で見向きに考えることができます。

参加者の声

何も分からず、初めて参加しました。初めは「余命半年!?」と驚きましたが、仲の良い方々と一緒にゲームに参加したことで、ハードルが下がり、気付いたら一生懸命考えていました。日頃考えることがない「最期の生き方」を考えることができて、これから家族に話したり、準備をしたりしていきたいと思いました。

誰もが、命に関わる病気やけがをする可能性があります。あなたやあなたの大変な人が「もしも」の時に、何が大事なのか、家族や大切な人と会議(はな)しておくことで最期まで自分らしい生活を送ることにつながります。

「もしバナゲーム」に興味がある人は、大木町地域包括支援センターにお気軽に問い合わせください。

